

催し物のご案内・利用案内

新型コロナウイルス感染症拡大状況により、イベント等の日程や内容を変更することがあります。お出かけの際は、当園の公式ホームページやSNSで最新情報をご確認ください。

企画展示 観賞温室第2室

- 1|4(月) 1|24(日) **新春展**
- 1|27(水) 2|28(日) **にいがたの花 アザレア**
- 3|3(水) 3|21(日) **にいがたの花 チューリップ**

作品展示 観賞温室第3室1階

- 1|4(月) 1|31(日) **はなみどり写真コンテスト入賞作品展**
◆出展:公益財団法人新潟県都市緑花センター
- 1|4(月) 1|31(日) **豆物語**
◆出展:新潟県立植物園
- 2|2(火) 2|14(日) **友の会写真展・冬芽展示**
◆出展:新潟県立植物園友の会
- 2|16(火) 3|7(日) **切り絵展**
◆出展:鶴水亜里沙
- 3|9(火) 4|4(日) **外山康雄 野の花の水彩画展**
◆出展:外山康雄 野の花館

特別展示 観賞温室第3室

- 3|6(土) 3|14(日) **洋らん展**
◆出展:越後洋らん倶楽部、新潟らんの集い

令和3年度植物園ボランティアスタッフ募集!

植物園の管理のお手伝いをしてくださるスタッフを募集します。植物の管理、資料整理、展示解説などの作業があります。健康で、植物に興味のある方ならどなたでも参加いただけます。ボランティアの登録には説明会への出席が必要となります。興味がある方は、植物園までお申込みください。

〈説明会日時〉3|18(木)・3|21(日) 10:30~(30分程度)
※どちらか都合の良い日にご出席ください。

花と緑の教室 *要予約/開催日の前月の1日から電話受付開始

- 1|17(日) **花と緑の育て方・楽しみ方 第5回「伝統園芸植物」**
13:30-15:00 ●講師:片岡充(片岡実幸園、花と緑のアドバイザー)
●参加費:1,000円 ●定員:12名
- 1|24(日) **水彩画にチャレンジ。絵はがきに植物を描いてみよう!【冬】**
13:30-15:00 ●講師:渡部陽子(オコの庭、花と緑のアドバイザー)
●参加費:1,500円 ●定員:12名
- 2|17(水) **花と緑の育て方・楽しみ方 第6回「アザレア」**
13:30-15:00 ●講師:倉重祐二(当園園長) ●参加費:1,000円 ●定員:12名
- 2|21(日) **植物園花散歩② 「温室の中の水草観察～熱帯植物ドームから水中庭園～」**
13:30-15:00 ●講師:橋本永(当園職員) ●参加費:500円 ●定員:12名
- 3|7(日) **花と緑の育て方・楽しみ方 第7回「チューリップ」**
13:30-15:00 ●講師:近藤智子(当園職員) ●参加費:500円 ●定員:12名
- 3|21(日) **水彩画にチャレンジ。絵はがきに植物を描いてみよう!【早春】**
13:30-15:00 ●講師:渡部陽子(オコの庭、花と緑のアドバイザー)
●参加費:1,500円 ●定員:12名
- 3|24(水) **植物園花散歩③「早春を探しに」**
13:30-15:00 ●講師:笠原優奈(当園職員) ●参加費:500円 ●定員:12名

*会場・集合場所:花と緑の情報センター2階研修室(入館無料エリア)
*参加費には温室入館料が含まれます

〈植物園友の会主催〉 参加費◆500円(友の会会員300円) 時間◆13:30~
植物楽講座 会場◆新潟県立植物園 花と緑の情報センター 2階研修室

- 2|14(日) **タンポポの名前の歴史** ●講師:森田竜義(友の会会長)
- 3|14(日) **ちょっと木になる木の話～樹木とその後の使い道**
●講師:白神孝雄(友の会会員)

〈参加希望の方は友の会ホームページをご覧ください〉
<https://www.nbg-tomonokai.org/>

3|21(日) ウェルカムフェスタ 植物園で“春を満喫”

- ◆花販売 ◆体験教室 ◆キッチンカー出店 など

施設ご利用にあたって

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、以下についてご理解とご協力をお願いいたします。

- 入館前の手指アルコール消毒 ●マスクの着用 ●お客様同士の距離確保 ●体調がすぐれない場合の入館自粛 ●混雑時には入館制限を行います

観賞温室開館日 温室開館時間9:30~16:30(入館締切16:00)

1 January							2 February							3 March						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	・	・	1	2	・	1	2	3	4	5	6	・	1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27
※	25	26	27	28	29	30	28	・	・	・	・	・	28	29	30	31	・	・	・	

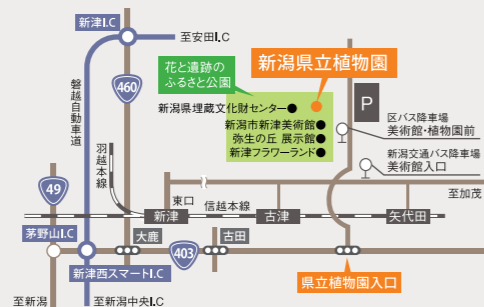
休館日

新潟県立植物園

〒956-0845 新潟市秋葉区金津186番地
TEL.0250-24-6465 FAX.0250-24-6410
HP <https://botanical.greenery-niigata.or.jp/>
指定管理者 国際総合学園・都市緑花センターグループ

ツイッターフェイスブック、インスタグラムで開花やイベントの情報を発信しています。フォローお願いします。

新潟県立植物園 検索



屋外園地無料/無料駐車場300台収容

観賞温室利用案内

	個人	団体(20名以上)	回数券(5回分)	定期券(6ヶ月)
大人	600円	480円	2,500円	1,200円
シルバー(65歳以上)	500円			
高校生・学生	300円	300円		
小・中学生	100円	100円		

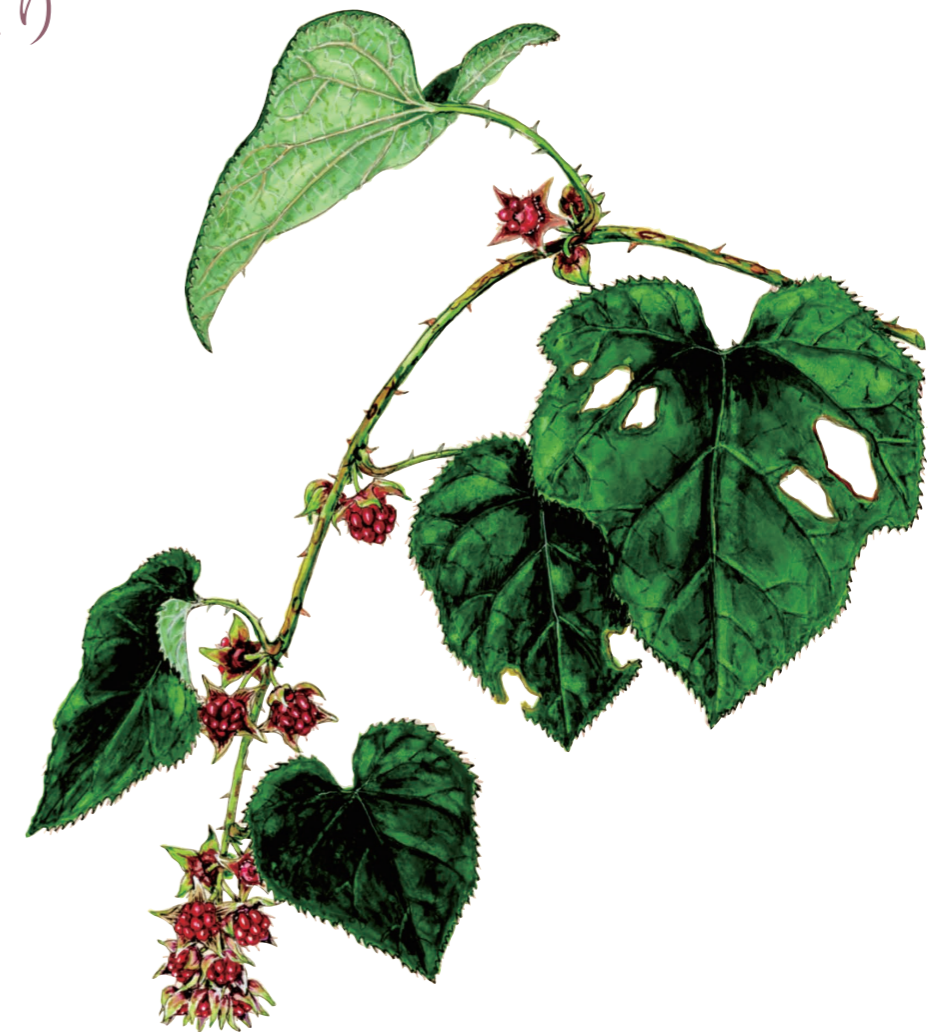
- シルバー料金での入館は生年月日を証明できる物の提示が必要です。
- 高校生・学生料金での入館は学生証の提示が必要です。
- 身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳所持者は無料となります(等級により介助者無料)。

- JR** 信越本線古津駅下車徒歩約25分
- バス** 区バス:新津駅東口から「新津駅西口」行き「美術館・植物園前」下車徒歩約1分
新潟交通バス:新津駅東口から「矢代田経由白根・湯東営業所」行き「新津美術館入口」下車徒歩約10分
※日・祝運休
- 高速道路** 磐越自動車道新津ICから国道403号で三条/加茂方面へ約15分
- 一般道路** (新潟方面から)国道49号から茅野山ICを国道403号加茂/新津方面へ20分

NIIGATA Prefectural Botanical Garden NEWSLETTER

新潟県立植物園 植物園だより

2021 winter Vol.80



フユイチゴ <バラ科>

Rubus buergeri

フユイチゴは、常緑のつる性木本である。関東以西に分布する暖帯の植物であるが、日本海側の海沿いにも点々と分布地がある。棘のある長い葉柄にやや円形で鋸歯がある葉をつける。地上を這う茎の棘はまばらで、盛んに枝分かれして大群落をつくる。枝先や葉腋に円錐花序をつくり、8~11月頃まで小さな白い花を咲かせる。果実は子房が熟した集合果で、10~12月頃に赤く熟した果実が降雪時の白とよく映えて美しい。この果実も他のキイチゴ類と同様に食べられる。 解説:富樫信平(要約)



企画展示



新春展 令和3年114(月)124(日)

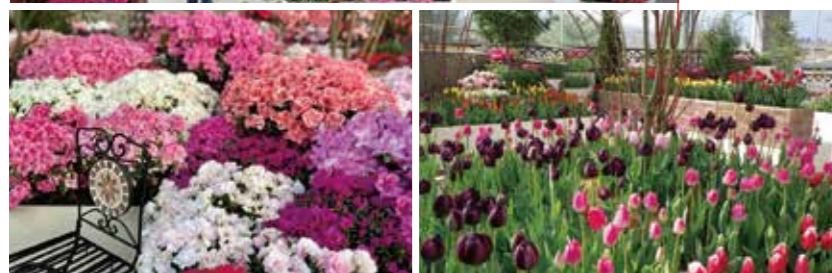
新しい年を迎え、慶事の象徴である松竹梅(マツ・タケ・ウメ)のほか、縁起の良い植物として飾られる植物にマンリョウ、センリョウがあります。それぞれ「万両」、「千両」と書かれ、商売繁盛を祈願する縁起植物として飾られます。これらのほか、「百両金」(カラタチバナ)、「十両」(ヤブコウジ)、そして「一両」(アリドオシ)も縁起植物として普及しています。これらに共通なのは、冬に青々とした葉をつけ、秋から冬に小さな珠玉のような赤色の実をつけることです。会場では伝統園芸植物と新春に相応しいアザレアを組み入れた明るい雰囲気の新YEARガーデンをお楽しみください。

左:十両・ヤブコウジ 明治中期には高値で投機的に売買され、明治30年に紫金牛(やぶこうじ)売買取締規則が出るほどだった
右:万両・マンリョウ 姿かたちが千両や百両金よりも優れているとして江戸時代に万両と表されるようになった



企画展示

にいがたの花 「アザレア」 令和3年1127(水)2128(日) 「チューリップ」 313(水)3121(日)



下左:アザレアは新潟県が国内生産量の80%を占めている新潟を代表する花木、戦前に作出された貴重な古品種や新潟県内で作出された品種など、テーマ別の品種陳列展示も見どころ。/下右:昨年は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため観賞温室が臨時休館となり、大変残念なことにチューリップ展は無観客展示となってしまいました。せっかく咲かせたチューリップでしたので、急遽、園地や新潟市内に展示し、多くの方から楽しんでいただきました。

園内ウォッチング

バックヤードぴかー植物 ツバキコレクション

植物園のツバキ園では11月頃からピンクや白などの花が次々咲き始め、3月までの長い間、冬枯れた景色に彩りを添えてくれます。屋外のツバキの他にベトナムや台湾など暖かい地域を原産とする野生種ツバキをバックヤードで育成しています。株も大きくなり蕾をたくさんつけるようになったこれらのツバキを、開花しそうなものから順次、観賞温室内で展示しています。葉脈が窪んで凹凸が目立つ葉や黄色い花など、普段目にする日本のツバキとは趣が異なる姿のツバキも登場予定です。(近藤智子)



カイドウツバキ (ハイダウン) *Camellia amplexicaulis*
ベトナムと中国海南省の山地の森林に自生する常緑低木で、高さ4mに達します。蕾は大きく紅色、花は紫がかった紅色で、平開せずに抱え咲きになります。ベトナムでは、仏花として用いられています。熱帯植物ドームでも見ることができます。



グランサムツバキ *C. granthamiana*
香港の九龍半島の大帽山に自生する高木で、高さ3~8mになります。灰褐色のがく苞に包まれた大きな蕾が目を引きまします。白い大輪の花を咲かせ、白い花弁と500本以上の黄橙色のおしべがとても豪華な印象です。



ツバキ属ドウオンギイ *C. duongii*
ベトナムで発見された黄色いツバキで、仮にドウオンギイと名付けられましたが、中国の広西チワン族自治区とベトナムに自生する黄色いツバキ、ペテロロティ(*C. petelotii*)と近縁なため、新種だと確定していません。花付きが良く、花色も濃いので、園芸的な利用が期待されています。

植物園NEWS 1

体験教室、再開しました。 ~新しい「普及・啓発」の形~

県立植物園では、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、植物を使ったクラフトが作れる「体験教室」を4月から休止してきました。国内、県内の感染状況や周囲のニーズなどの情報を収集し、私たちが「すべきこと」や「できること」を確実に行うことで、体験教室を11月から試行的に再開することにしました。手指の消毒やマスク着用はもちろん、十分な換気と距離をとることのできる場所、人数制限などに取り組み、いままでも以上に

植物の魅力と楽しさを伝えられるように実施していきます。また、花と緑の教室等においても、「web配信」を予定しています。webを活用した普及・啓発は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点に加え、今まで以上に多くの方へ、そして通常では参加が難しい遠方の方へも発信ができる機会となると考えています。これらのような新しい「普及・啓発」の形を積極的に取り入れていきます。(丸山真也)



体験教室の様子



ハーバリウム

植物園NEWS 2

オウギバショウ(タビビトノキ)の実を着けてみたい!



左から
実:種子を包んでいる仮果皮が鮮やかな青色でとても美しい。
花:一花序に数個~十数個の苞が付き、苞の中から20個くらいの花が着く。矢印の部分で離しべ。
授粉:指に花粉を取り、離しべにこすりつけている。

オウギバショウ(*Ravenala madagascariensis*)はマダガスカル原産で葉が扇のように広がっている様子からその名がついています。その果実は、人工的に作られたような鮮やかな青色でとても美しく、装飾品として売られています。自生地では、エリマキキツネザルが花粉を媒介し、受粉される

ことで結実するとの報告があります。現在、温室内で展示されている株は平成21年に出た子株が育った二代目で樹高は約7m。今年初めて花を着けました。花序は地上約5.5mの場所に位置し、脚立を用いれば近くで観察可能な高さです。オーストラリアでの栽培の調査報告で、

自家受粉でも結実するとの記載があったため、受粉すればあの青い実ができる過程を観察できるかもと、サルに代わって授粉作業を11月からはじめています。今回の授粉方法で、結実するかはわかりませんが、「青い果実が着きました」と報告できればいいなと思っています。(橋本永)

植物園NEWS 3

「おやこ植物園」オープンへ



上:びょうんガーデン
右:おやこワークショップ「ドングリの森に木を植えよう!」



子どもが植物などの自然に触れ、楽しみながら学ぶことができるエリアを令和3年5月に開園します。また、感じたことを保護者や身近な大人と共有し、体験を深めることを大切にしていきたいため、このエリアを「おやこ植物園」と名づけました。手触りやにおい、美しさや不思議さを感じられるような植物、土遊び場や水たまり、芝生の小山などからなる屋外部分「びょうんガーデン」のほか、苗を育てたり、工作や調べ物をしたりできる屋内部分「すいすいルーム」を設ける予定です。プレオープンとして、秋に参加者を募

集して「おやこワークショップ」を行いました。10月に行った「ドングリの森に木を植えよう!」では、ドングリのなる木の苗木を植樹しました。11月には、今春のチューリップ球根生産100周年を記念して植えられたチューリップから採れた球根を植えました。開園の頃の開花が楽しみです。また12月は「クリスマスツリーを飾ろう」と題し、植物を使った工作を行いました。開園後も、利用される皆さんとっしょに木や草を植え、育てながら、充実した体験ができるエリアにしていきたいと思ひます。(林寛子)